

足寄町児童館

■所在地	足寄郡足寄町南5条2丁目2-2	■木材使用量	113.09 m ³
■設置者	足寄町	(うち地域材)	95.31 m ³
■構造	木造2階建	■使用樹種	
■延床面積	496.93 m ²	(構造)	カラマツ
		(内外装)	カラマツ、シナ



◆施設の概要

この施設は、足寄小学校に隣接する既設の学童保育所と、町内2か所に点在している児童館を集約し、足寄町町民センターにある図書室の分室も兼ねた施設として建設しました。

子どもが多く利用する施設であることから、構造材に町産材のカラマツを使用し、木材の良さを肌で感じてもらえるように構造を露出させ、来館者にも木のぬくもりと木造の可能性をPRできる施設となっています。

◆工法等の特徴

構造は木質二方向ラーメン構造「サミットHR工法」を採用しております。サミットHR工法は柱や梁の接合部に異形鉄筋を貫通させエポキシ樹脂で充填・硬化させる事で剛接合に近い強固な接合部となり、木質二方向ラーメン構造を実現。RC造やS造と同等の柱割や耐震性を併せ持ち、木造でありながら筋交いや耐力壁が不要になり大空間、大開口を可能としています。

◆整備に当たり苦慮したこと

発注時期の遅れから工期に余裕がなく、構造材料の確保や、冬季施工における外装仕上げの養生などコスト面での影響がありました。

◆利用者の声

「外観からは想像できない内装の木質化に驚いた」や「木製の建具でより木の温かみを感じられる」などの感想も聞かれ、木材を利用したことによる体感的な効果を実感できる施設となりました。